



議会だより

でいすかす

128号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2025.8.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

委員会だより

改選後の新体制で臨む
重点活動テーマとは？

目次

委員会だより ①～②ページ

一般質問 ③～⑤ページ

補正予算審査、その他 ... ⑥ページ



新体制での委員会活動が スタート

総務・教育委員会

この度、メンバーを一新し、新体制で2年間の活動をスタートしました。

本委員会では、未来へつなげる公共施設整備の監視とキャリア教育の推進について重点活動のテーマといたしました。

現在、建設が進んでいる市役所本庁舎や移転の検討を行っている市立図書館、室蘭市と共同運用を予定している学校給食センターなどの公共施設に係る整備の計画や協議状況を注視するほか、老朽化の進んでいる公共施設についても調査・研究してまいります。

また、これからの未来を担う青少年に職業体験などの大人との関わりを通じ、将来の目標や働くこと、社会貢献の大切さを見出し、郷土愛、地元定着意識の醸成などを育むためのキャリア教育をさらに推進するため、調査・研究してまいります。

そのほか、前委員会からの申し送り事項、過去の政策提言についての継続調査など、市民の皆様の将来に向けた活動を行うてまいります。

(戸井)



生活・福祉委員会が目指す これからの2年間

生活・福祉委員会

本年度から新たにスタートした本委員会では、2年間の任期の中で、市民の皆さんの暮らしに寄り添った調査や研究を進めていきます。

重点活動テーマとして、子どもや若者の声が届く仕組みづくりを掲げ、政策づくりや条例化の可能性を含めて検討してまいります。なお、これらの検討にあたり、勉強会や他自治体の事例研究、市民との意見交換会なども実施してまいります。

調査研究事項では、誰もが自由に移動できる仕組みづくりとして、公共交通の在り方や、地域で支え合う仕組み（持続可能な町内会）づくりの在り方といった課題にも継続して取り組みます。

前委員会から引き継いだ提言や課題を大切に、関係団体や市民の皆さん、議会および専門的サポーターとの意見交換を重ね、現場の声を丁寧に受け止めながら検討を進めてまいります。

2年間を通じて、誰もが安心して暮らせるまちのために、できることを幅広く考え、市民の皆さんとともに歩む委員会活動を目指します。

(宮武)

経済の活性化と

観光振興の将来像

観光・経済委員会

本市は広く海に面しており、第3種漁港である登別漁港は豊富な魚が水揚げされています。

また、登別牛や登別豚、登別産のホップを使用したビール、牛乳を活用した加工品など地域の魅力を高め、来客客に購入いただき、域内外に届けることでひと・もの・かねを好循環につなげます。さらに市内企業の魅力を知り、企業価値を紡いでいけないだろうかとの思いから、重点活動テーマの一つとして域内循環を取り上げました。

また、市は観光振興ビジョンを本年より2力年かけて策定していくことから、本委員会としても湯のまちのびりべつの今後の在り方について調査研究してまいります。

そのほかにも、公共の建築物などの整備計画や除却事業に対する取り組み、DMOやMICEの調査・研究、商業×スポーツ・観光×スポーツ・観光×体験といった連携ができないかそれぞれ調査研究してまいります。また、市民サポーターや団体との意見交換も行なってまいります。

(工藤)



より身近で多様性のある

議会を目指して

広聴・公開委員会

新たな体制となった広聴・公開委員会は、6名の新メンバーでスタートを切りました。

私たちは、市議会の広報誌であるでいすかすの編集・発行をはじめ、市議会公式ウェブサイトやSNSを通じて情報発信、また、議会フォーラムや議会サポーターとの意見交換など、市民の皆さんと議会をつなぐ多様な広報・広聴活動に取り組んでまいります。

本年度の活動テーマは、より身近で多様性のある議会を目指して、としました。

子どもからお年寄りまで、全ての世代の市民の声に耳を傾け、分かりやすく率直な議会情報をお届けすることで、市民の皆さんに議会をより身近に感じていただけるよう努めてまいります。

本委員会では、市民の時間、期待、気持ちに真摯に寄り添い、議会とまちをつなぐ架け橋として、信頼される情報発信を続けていく所存です。これからの活動にもぜひご注目ください。

(成田)



2年後の19名から

16名の議会体制に向けて

議会運営委員会

新たな本委員会の出発にあたり、議長から諮問事項として、①議員定数16名における委員会体制の見直しについて②政策サイクルの導入と議会費の見直しも視野に入れた議員力・議会力の向上について③議会・議員活動のさらなる見える化を目指した市民広報について④議員報酬の見直しについて、以上4つの協議事項が諮問されました。

また、本委員会の重点活動テーマを市民から期待と信頼される議会を目指し、議論を尽くして2年後の登別市議会16名体制の議会BPR（業務改善）に取り組むこととして、スタートしました。

次期改選後の議員定数が19名から16名と3名減になることにより、議会の質を落とすことのないよう大胆な議会運営の変革が求められます。

どこまでも住民福祉のさらなる向上に向けて、決して後退することなく、より効率的な議会の業務改革を目指していきます。

皆さまにおかれましては、今後とも、忌憚のないご意見・ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

(今野)



※BPR：業務の進め方や組織構造を根本からみなおし再構築する取り組み。

質 新庁舎建設工事における基礎工事はなぜ当初の工期から遅れたのか。

答 建築主体その2工事の契約は、基礎を含む1階床のコンクリート工事を本年3月17日までに完了予定だったが、本年1月30日に発覚した施工不良によ



杉尾議員の
一般質問
中継はこちら

新庁舎工事を子どもや孫たちの負担にさせない

杉尾直樹

令和7年第2回定例会 一般質問

[令和7年6月16日(月)～6月19日(木)]

議員11名が市政を問う



▲定例会最終日の集合写真

質 工事の遅れに伴う責任は。

答 遅れを生じさせた原因者となる。新庁舎工事に参入している各種事業者の方々から、相談や意見があり質問しました。今後は行政としても監理をしっかりと、未来を担う子どもや孫たちの負担にならぬよう指摘しました。

り完成時期に遅れが生じた。再施工を含めた基礎工事の完了は6月18日を予定している。

質 本体工事と外構工事の完成時期は。

答 本体工事は令和8年3月20日を予定していたが、現在工程を精査している。外構工事は予定どおり令和10年度としている。

質 除却推進プランには、多くの未利用財産があるが、プランに登載・非登載にかかわらずより積極的に売却を進める必要があり、機動的に対応し、できる限り売却や除却を進めて欲しいが、市の考えは。



工藤議員の
一般質問
中継はこちら

未利用財産の除却推進は

工藤雄二

地方公務員の人材不足は、安定的な公共サービスの持続性に大きく影響し、市民生活に直結する重要な課題です。市民からの信頼と選ばれる市役所を目指した職員採用や人材育成、人事評価制度の在り方などを質問しました。



伊藤議員の
一般質問
中継はこちら

今こそ時代の変化に柔軟な行政組織の再構築を

伊藤健太

質 職員の採用要件などを近隣自治体の水準に準拠していく考えは。

答 総合的な検討が必要であり、毎年度、慎重に検討して要件を決めていく。

質 人事評価制度の是非が問われている時期と考えるが、見解は。

答 令和7年度下期の人事評価から新制度が適用できるよう、評価内容についての協議を進めている。

質 持続可能な組織体制に向けた組織機構の見直しの考えは。

答 必要に応じて組織の改編を行っているが、組織機構を見直すタイミングの一つとして、本庁舎移転を予定している令和8年度が好機と考えている。

質 行政目的が喪失し、将来的な利用計画も定められていない財産については、積極的に貸付や売却処分することで財源確保を図ることとしているが、建物を除却せずに土地と建物を一体的に売却する方法もある。

市としては、広い選択肢を持ち、個々の施設それぞれの事情に応じて、より良い選択を行っていくことが必要である。

質問のとおり、除却推進プランへの登載を見送った施設を含めて、機動的に対応したいと考えている。

質 総務省統計局のデータによれば、本市において2018年から2023年にかけて、世帯収入700万円未満の世帯が減少傾向にあるのに対し、世帯収入700万円から1千500万円未満の世帯が増加している。一般的には子育て世帯



今野議員の
一般質問
中継はこちら

根拠に基づく
政策・施策立案を
今野幹太

質 本市における下水道管の現状や下水道管の破損の可能性は。
答 下水道管については、昭和56年度から布設を始め、平成2年10月から供用を開始している。
現時点では法定耐用年数の50年を超



金澤議員の
一般質問
中継はこちら

下水処理施設・下水道管の
現状と事故対策は
金澤則男

答 放課後児童クラブにおける配食サービスは、子ども・子育て支援に関するニーズ調査で、一定程度のニーズがあると分かったため、放課後児童クラブにおける本サービスの導入について検討してまいりたいと考えている。

の母親が専業主婦やパート職員、もしくはパート職員から正職員として働く世帯が増えたものと推察される。
そのような世帯の困りごとの一つに、放課後児童クラブにおいて、夏休みや冬休みは給食が提供されないため、弁当を作ることへの保護者負担が考えられるが、本市の考えは。

質 今後の下水処理施設更新による下水道使用料への影響は。
答 施設更新にあたっては多くの費用が見込まれるため、単に法定耐用年数に基づいて更新するのではなく、施設を可能な限り長く有効に活用することを中心に、更新費用の平準化を図り、将来的な使用料への影響を抑えられるように取り組んでいる。

える管きよはないため、経年劣化による破損の可能性は低いものと考えているが、定期的な点検・調査により異常の有無を確認し、必要に応じて修繕を実施することで事故防止に努めている。

※管きよとは＝下水道や雨水排水などで使用される管状の施設

質 学校の統廃合により、今年度から幌別学校道路踏切に町内会の方が登校時に見守りで立っている経緯は。
答 交通指導の受託担当人員不足を幌別鉄南地区連合町内会に報告したところ、一定期間の協力の申し出をいただ



岩田議員の
一般質問
中継はこちら

こどもファーストって何
岩田恵

質 保育施設の入所時期を生後6カ月より早める考えはあるか。
答 令和8年度からの警保保育所の民間委託後は、本市で採用している保育士を富士保育所に集約することになる。そのため、この機会に0歳児への手



宮武議員の
一般質問
中継はこちら

多様なニーズに対応できる
保育環境を
宮武祥子

質 統合後の環境整備等に関する方針で示した配置ができていないことは申し訳なく、町内会の皆様の協力には大変感謝しており、今後は、保護者の意見を伺い、対応について決定していく。子どもは地域の財産で宝です。今後の対応をしっかりと注視していきます。

いたもので、下校時の見守りは、警備会社に委託し予算措置を行った。
質 警備会社の委託費用は。
答 今年度は、年間205日間、下校時に1日4時間の1名配置で、29万4千500円の委託契約を締結している。

質 第2子無償化の進捗状況および認可外保育施設などへの多子軽減制度の対象拡大の検討状況は。
答 第2子無償化の実施内容や時期は現時点で未定だが、財政状況を踏まえながら検討を進めている。

認可外保育施設などの多子軽減については、道内各市の状況を調査するほか、市の財政状況や登別市子ども・子育て会議の意見を聞きながら、具体的な実施内容や実施時期と併せて総体的に検討する。

ペット飼育可能な市営住宅に
ついでのかえは
足立知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 小型の猫や犬の飼育が可能な市営住宅については、市民からの要望があり、令和3年6月と令和5年3月の一一般質問で取り上げ、市長からは前向きな答弁をいただいています。

取り組み状況を参考にしながら、市営住宅でのペット飼育の在り方について調査研究していくことだったが、進捗状況は。

答 他の自治体においては、災害公営住宅の一部でペットの飼育を許可しているほか、入居者の同意が得られることや飼育ルールの遵守等を条件として、既存の公営住宅をペットの飼育ができる住棟に転用している事例を確認しており、参考にしながらさらなる検証を進めていく。

また、既存の入居者にアンケート調査を実施し、ペット飼育の導入についての可否を判断していきたい。

観光振興ビジョンの
取り組み状況は
天神林美彦



天神林議員の
一般質問
中継はこちら

は、令和6年度に登別の観光を考える勉強会を計7回開催しており、観光関連企業や団体などに加え、多くの市民の皆さんにも参加していただき、登別観光の現状や課題、今後の方向性について議論を重ねてきている。

現在、観光関連団体などで構成する策定委員会の立ち上げに向けた人選に関する検討を進めているほか、他市の計画に関する事例調査などに取り組んでいる。

今後においては、策定委員会の中で議論を深めて、登別観光のあるべき姿や目指すべき方向性などをしっかりとまとめて策定する。

ペアレントファーストから
こどもファーストへ
辻弘之



辻議員の
一般質問
中継はこちら

質 こどもファースト政策を保育料減免などに限らず、子どもの幸せをつくる包括的な事業として展開していくべき。不登校児童が近年急増しているにもかかわらず、全庁的に解決に向けた政策協議はされていない。

放課後等デイサービスや子どもの学習・生活支援事業など、学外以外でも社会資源となる事業の有用性を高め、学校との接続を改善するべき。

また、保育所遊具購入費予算が数年間0円、老朽化された遊具も修繕されないまま放置されている実態から、声を出せない、伝えられない子どもたちに寄り添う姿勢を求めるが、見解は。

答 不登校児童対策は教育委員会のみならず、全庁的課題と捉えているため、改めて対策協議を進めたい。

また、保育所遊具の実態は適切ではないと認識しているため、できるだけ早く改善していくよう検討する。

加齢性難聴者への支援は
佐々木久美子



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

れることから、本市が独自の制度を構築するためには、高齢者の状況を把握する必要があると考える。

質 国の介護保険保険者努力支援交付金制度の評価指標の中に、難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取組を行っているかという項目が追加されたが、本市の取り組みの考え方は。

答 第10期登別市高齢者保健福祉及び介護保険事業計画の策定に際して、聞こえに不安を感じる高齢者の方の割合を調査することを検討している。

質 助成制度を設けている自治体は、交付金を活用し、補聴器購入助成を行っている自治体もある。

質 助成制度を設ける必要性は。

答 補聴器が高価な機器であり、助成額も高額な金額を要するものと想定さ

予算・決算委員会（令和7年度補正予算審査）〔令和7年6月24日（火）〕

審査の結果、以下の主な事業が決定されました。

◆津波避難路の整備

津波発生時にJR線路を安全に横断できるよう、避難扉および避難路を新たに整備します。

令和7年度は新生団地付近に、令和8年度は若草小学校付近での整備が予定されています。今後も鷺別町、栄町、大和町、幌別町周辺を優先的に整備を検討します。

◆地獄谷川改修工事の延長

地獄谷川の改修工事は、観光客への影響を考慮し、工期を2年間に延長したことから、予算の一部は次年度へ繰り越されます。

◆消防車両の整備

姉妹都市の海老名市より消防団に寄贈される消防ポンプ自動車に対応するため、車両整備費が計上されました。

◆子ども・子育て支援金制度に対応したシステム改修

国民健康保険および後期高齢者医療の特別会計において、新制度の子ども・子育て支援金導入のためのシステム改修費を可決しました。この制度は、少子化対策として全ての公的医療保険料に上乗せされ、国民全体で子育て家庭を支えることを目的としています。

(注)

令和7年第2回定例会における議案の賛否状況

第2回定例会で上程された議案はすべて可決されました。

令和7年第3回定例会は
9月12日(金)から開催される予定です。

議会中継をしてみませんか？

本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。

また、スマートフォンやパソコンで、生中継、過去の録画中継をご覧いただけます。



国会・政府・北海道に9件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。

第2回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充と豊かな学びを求める意見書
地域医療を守るため緊急対策の実施を求める意見書
地方財政の充実・強化に関する意見書
高額療養費見直しの丁寧な検討等を求める意見書
北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直し、豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

全国市議会議長会被表彰者の紹介

【特別表彰（市議会正副議長在任8年以上）】

辻 弘之 議員

【一般表彰（議員在任15年以上）】

辻 弘之 議員

【一般表彰（議員在任10年以上）】

井野正臣 議員
千田文孝 議員
若木康夫 議員

【感謝状（地方行政委員会委員）】

辻 弘之 議員



田中 寛志 議員のご逝去を悼んで

田中議員は本年6月7日に現職のまま逝去されました。登別青年会議所理事長や市民自治推進委員会会長の経歴を持ち、近年は町内会長をはじめ、登別ライオンズクラブ会長など各種地域活動にも精力的に取り組みされていた中で、突然の訃報は、残念至極でなりません。平成31年4月の初当選以来、2期約6年の在任中、全ての定例会で一般質問を行い、積極的かつ継続的な姿勢は議員として模範といえました。生前に残されました数多くのご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

